

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第2096号 2012年01月10日(火曜日)

《 a happy new year 》

今年もよろしくお祈りします。引き続き円高圧力が強い中での年明けとなっています。雇用統計などで経済の底堅さが確認されて他の通貨、特にユーロに対しては強基調で推移している米ドルも、対円になると77円台に乗ったり76円台に戻ったりの弱い展開。特に特筆すべきは、ユーロが対円で昨年末からの予想通り100円を割って、今週に入ってからシドニー市場では一時97円台前半になったことでしょうか。ユーロの憂鬱は続いている。

この週末に日本経済新聞が「貿易赤字転落 日本岐路に」(9日月曜日の朝刊)という興味深い記事を配信していましたが、この記事は特に相場には響かず。まだ2010年代半ばまでは所得収支が大幅な黒で、貿易赤字を埋め合わせる可能性が大。と言うことで、現下大混乱の欧州や、選挙を控えたアメリカに比べればまだ円の方に強みがあるという判断でしょう。しかし、日本の貿易収支の赤基調は、長い目で見て日本の通貨のレベルにも影響してくると思います。

この年末・年始の長い日本の休止期間の間に明らかになったことと言えば、アメリカの景況が予想以上に良い、ということがまず挙げられるでしょう。先週末に発表になった12月の雇用統計は、大方の予想は非農業部門就業者数が15万5000人の増加、失業率は8.7%というものでしたが、実際には雇用は20万人の増加となり、失業率は8.5%に低下した。その他の指標でも、アメリカ経済が一時懸念されたほどの弱さではなく、予想外の柳腰となっていることが明らかになった。

対して、欧州経済の苦境は深まっている。資金が欧州からアメリカに流れる中で、欧州各国の経済指標は悪化を続けているし、今年全部で1兆ユーロに達すると思われる政府債務の借り換えのメドも立っていない。今月内にはS&Pなど格付け機関のフランスの格付け見直しなどが予想されるが、それを前にハンガリーなどの格付け引き下げが続いている。

ハンガリーの格付けを引き下げたのはフィッチ・レーティングス。6日に同国の信用格付けを1段階引き下げ、ジャンク(投機的)等級となる「BBプラス」とした。しかも見通しはネガティブ。フィッチは声明で「格下げはハンガリーの財政、外部資金調達環境、および成長見通しの悪化を反映している。これらは一部、非標準的な経済政策により引き起こされたもので、こうした経済政策により、投資家信頼感が損なわれ、国際通貨基金(IMF)・欧州連合(EU)との新たな契約の合意が困難になっている」とした。

こうした引き続き厳しい状況を背景に、今年初めての独仏首脳会議がベルリンで開かれたが、財政不安の国を助ける安全網について各国が出す資本を“早め”に積み上げる方向で合意したものの、政府債務（借金）危機への対応策では大きな進展はなかった。メルケル独首相とサルコジ仏大統領のうち、サルコジ仏大統領は今年選挙の年であり、メルコジと言われた独仏の緊密な関係は、今年はがらりと変わる可能性がある。そういう意味でも今年の欧州情勢は厳しさが続くと思われる。

《 What will happen to BRICS 》

今年も先進国が抱える問題が深刻化する中で、途上国の動向には関心が集まると思われる。特に、中国とインドの情勢把握は必要だ。そういった点にも目配りして行きたい。

今週の主な予定は以下の通りです。

- | | |
|--------------|---|
| 1 月 9 日 (月) | 中国 1 2 月 消費者物価 / 生産者物価 メルケル独首相とサルコジ仏大統領が会談 ロックハート米アトランタ連銀総裁が景気見通しについて講演 休場 / 東京 (成人の日) |
| 1 月 10 日 (火) | 1 1 月 家計消費状況調査 米 1 1 月 卸売在庫 ウィリアムズ米サンフランシスコ連銀総裁が講演 ピアナルト米クリーブランド連銀総裁が労働市場について講演 ジョージ米カンザスシティ連銀総裁が「2012 年の経済見通し」について講演 |
| 1 月 11 日 (水) | 1 1 月 景気動向指数 メルケル独首相とモンティ伊首相が会談 エバンズ米シカゴ連銀総裁が「現在の経済の視点」で講演 ロックハート米アトランタ連銀総裁が経済見通しで講演 プロッサー米フィラデルフィア連銀総裁が経済見通し |
| 1 月 12 日 (木) | 1 2 月 景気ウォッチャー調査 ECB 理事会 米 1 2 月 小売売上高 米新規失業保険申請件数 米 1 1 月 企業在庫 |
| 1 月 13 日 (金) | 中国 1 0 - 1 2 月 期 GDP 中国 1 2 月 小売売上高 / 鉱工業生産 中国 1 - 1 2 月 固 定資産投資 |

韓国金融政策委員会

米11月貿易収支

米1月ミシガン大学消費者信頼感指数（速報値）

ラッカー米リッチモンド連銀総裁が経済見通しで講演

エバンズ米シカゴ連銀総裁が講演

1月14日（土）

台湾総統・副総統選／立法委員選

《 have a nice week 》

年末年始はいかがでしたか。大きな出来事はなかったものの、今年は先に書いたとおり各国で選挙など多く、去年にまして色々なことがおきそうな予感がします。それにしても、日本の年末・年始はどうも意気が上がらないと思いませんか。「さあ年末だ」「さあ年初だ」と言うときに、必ず連休が入ってしまう。意気が沈むのです。

この3連休もそうでしたが、「さあ年も明けたし...仕事だ」と思うと連休。年末・年始で行くところには行ったし、お金もあまりないし、と言う時に連休なわけです。ま、2日の土日の休みに一つくつついただけと言えそれまでですが、どうもいかん。と思っているのは私だけではないようで、タクシーに乗れば運転手さんにどうにかなりませんか、と言われるし、他でもそういう話は一杯聞く。

いっそのこと、三が日にからめてお休みにしても良いような気もする。少し長く。一生懸命働いて年末・年始ゆっくり休んで、年初から仕事をフル回転。どうでしょうか。

それでは皆様には良い一年、良い一週間をお過ごしください。

《当「ニュース」は住信基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したのですが、正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》